令和7年度 第1回西区自治協議会 会議録

日時	令和7年4月25日(金) 15:00～	会場	内野まちづくりセンター ホール
出席者	委員	風間会長、岩沢副会長、山賀副会長、中村委員、伊藤(甲)委員、渡邊委員、伊藤(健)委員、田村委員、大矢委員、笹川委員、伊藤(正)委員、藤橋委員、大島委員、青木委員、尾田委員、荻野委員、塩川委員、古俣(和)委員、羽賀委員、山岸委員、長澤委員、高橋委員、古俣(慎)委員、西山委員、山口委員、今村委員 計26名	
	事務局	水野区長、大橋副区長、兼島地域課長、治田区民生活課長、吉岡健康福祉課長、浅間保護課長、中村農政商工課長、丸田建設課長、野崎西出張所長、菊地黒崎出張所長、永井西区教育支援センター所長、高野坂井輪地区公民館長、真柄坂井輪図書館長、佐藤都市計画課長 他	
傍聴人	県議・市議…4人/報道…0人/一般…0人		

【開会】

(地域課・吉岡補佐)

- ・出席予定委員数27名、会議成立の報告
- ・会議内容公表の報告
- ・資料内容確認

【区長あいさつ】

(水野区長) 区長挨拶

【委嘱状交付および委員・事務局紹介】

(地域課・吉岡補佐)

会場と時間の関係上、委嘱状を机上配布にて、
並びに委員・事務局紹介を名簿にて行うことを報告。

【議事】

(地域課・吉岡補佐)

それでは続きまして会長、副会長の互選という形で進めさせていただきたいと思えます。

まず会長でございます。立候補または推薦のご意見等ございますでしょうか？

(岩沢委員)

はい

(地域課・吉岡補佐)

お願いいたします。

(岩沢委員)

私、五十嵐小学校区コミュニティ協議会の岩沢です。

立候補者がいらっしやらないようでございます。

今期は9期では会長をされていた方が退任されましたので、
当然ながら副会長が自動的に会長になるというのが望ましいということで、
私から風間委員を推薦をさせていただきます。
よろしくをお願いします。

(地域課・吉岡補佐)

ありがとうございます。

ただいま、風間委員を会長に推薦するというご意見をいただきました。
ほかに立候補や推薦等はございますでしょうか？よろしいでしょうか？

(異議なし)

(地域課・吉岡補佐)

ありがとうございます。

そうしましたらご推薦いただきました風間委員に会長をお願いしたいと思いますが、
風間委員の方はよろしいでしょうか？

(風間委員)

お任せいただけるのであれば、精一杯務めさせていただきます。

(地域課・吉岡補佐)

では今期の会長は風間委員をお願いしたいと思います。よろしくをお願いいたします。

続きまして副会長の互選をさせていただきます。
会長が欠けた際などに、職務を代理していただく副会長でございます。
立候補または推薦のご意見はありませんでしょうか？

(長澤委員)

はい。

(地域課・吉岡補佐)

お願いします。

(長澤委員)

はい。立候補または推薦等がないようであれば、
会長からのご指名により、副会長決定ということでいかがでしょうか？

(地域課・吉岡補佐)

ありがとうございます。
会長のご一任ということでご意見をいただきました。
その方向でよろしいでしょうか？

(異議なし)

(地域課・吉岡補佐)

では会長からどなたかご推薦したい方をご指名お願いいたします。
よろしくお願いいたします。

(風間会長)

それではそういうことで今私の方に振られましたので、推薦させていただきたいと思います。
では皆さんに本日お配りされた資料 1-1 第 10 期西区自治協議会委員名簿を
ご覧いただきたいと思います。

ではこの中から部会長をお 2 人推薦させていただきます。

まず 1 名は五十嵐小学校区コミュニティ協議会の会長されております岩沢委員さんですね。
それからもう 1 名は NPO 法人まちづくり学校、チーフコーディネーターの山賀委員さん。

この二人にお力添えをいただきたく、
副会長に推薦させていただきたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

(地域課・吉岡補佐)

ご指名ありがとうございます。
ただいま会長の方から副会長に岩沢委員と山賀委員を推薦ということでしたけれども、
お 2 人ともよろしいでしょうか？

(岩沢委員)

力不足ですが頑張ります。

(地域課・吉岡補佐)

ありがとうございます。

はい委員の皆様も岩沢委員と山賀委員を副会長ということでご承認いただけますでしょうか。

(異議なし)

(地域課・吉岡補佐)

どうもありがとうございました。

承認いただきましたので、副会長に岩沢委員、山賀委員という形で決定させていただきたいと思います。

会長職務代理の順序も岩沢委員、山賀委員の順でお願いしたいと思います。

よろしく願いいたします。

会長・副会長が選任されましたので、

これ以降の進行については新会長・新副会長と打ち合わせをさせていただきたいと思います。

打ち合わせに伴い、5分間の休息を取らせていただきたいと思います。

なお、再開は15時25分ごろとさせていただきます。

そうしましたら、しばし休憩をさせていただきますのでお待ちください。

よろしく願いいたします。

(打ち合わせ・休憩)

(地域課・吉岡補佐)

お待たせいたしました。

それでは再開をさせていただきます。

初めに、会長・副会長から一言ご挨拶をお願いします。

(風間会長)

はい、今ほど会長に選出をいただきましてありがとうございました。

私は東青山小学校区コミュニティ協議会の代表を務めましてこの4月で丸9年になりまして、

コミュニティの会長を仰せつかったときから自治協の委員も合わせてやっておりますので、

自治協委員も9年目になります。

まだまだ知らないことがたくさんありましてこれから2年間副会長さん、

それから委員の皆様にご協力を得ながら何とか2年間を乗り切りたいと思っております。

とりあえず現在は何か怪我をしたとかそういうことはないんですけれども

日々健康に気をつけていきたいと思いますので、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

(地域課・吉岡補佐)

ありがとうございます。

副会長の方お願ひいたします。

(岩沢副会長)

副会長を務めます、岩沢と申します。

私は五十嵐小学校コミュニティ協議会の会長になります。

現在は会長をやって、4年目ですかね。

この自治協については副会長時代からでしたので6年ですかね。

いずれにしても新メンバーで改めて自治協を行うわけでありまして、

風間会長を上手にお支えできるかどうかはわかりませんが、

私なりに頑張っていきたいと思いますのでどうぞよろしくお願ひします。

(地域課・吉岡補佐)

ありがとうございます。

山賀副会長お願ひします。

(山賀副会長)

皆さんこんにちは、NPO法人まちづくり学校の山賀と申します。

副会長にご指名いただきましてとても光栄ではあるんですけども、

非常に身の引き締まる思いでございます。

まちづくり学校は各地のまちづくり活動の支援をしております、西区の青山に事務所があります。

私はそこに所属しておりますので、

その関係でこちらの自治協議会の委員にもかなり長く務めさせていただいているところです。

去年は第3部会の部会長をやっておりました。

私自身住まいは中央区なんですけれどもこの仕事の関係で西区のいろんな方々のご縁がありまして、

コミュニティ協議会の方ですとか他のいろんな市民団体の方ですとかと関わっていく中で

人材の力の強さといいますか、実行力のあるところですか、

そういったところが非常に西区の宝だなというふうに感じております。

しっかりと会長を支えて努めていきたいと思いますのでよろしくお願ひいたします。

(地域課・吉岡補佐)

はい、ありがとうございます。

それでは新潟市区自治協議会条例の規定によりまして、
ここからの議事進行は会長にお願いいたします。よろしくをお願いいたします。

(風間会長)

それでは進行を変わりまして次の議事でございます。
皆さんの次第の(2)第10期の部会編成につきまして、
兼島地域課長様よりご説明をお願いいたします。

(地域課・兼島課長)

はい西区役所地域課長兼島です。
資料2第10期西区自治協議会部会所属一覧(案)をご覧ください。着座にて失礼いたします。

こちらはあらかじめ今期、委員に就任される皆様にお伺いした
部会所属の希望に基づき作成した第10期の部会所属一覧の案となります。

第1部会が防犯・防災・自然環境・住環境等についての分野になりますし、
第2部会は健康・福祉・文化・スポーツ・教育等の分野になります。
第3部会は産業・区の魅力発信・交通などを所管する会となります。
裏面に総務特別部会となっております、
この中でも広報紙の作成チームというところでご希望いただいた方のお名前を記載しております。

あらかじめ頂戴した希望に基づきまして皆様が第1希望の部会の所属となるように、
原則的にはまとめさせていただいているところです。

一部例外の方もいらっしゃるんですが、基本的には多くの方々が第一希望のご所属となるように
編成できているのかなというところで事務局の案として作成させていただきました。

本案の通り部会所属を決定してもよろしいかどうか、ご審議くださいますようお願いいたします。

(風間会長)

はい、ご説明ありがとうございました。
今の説明で皆さんの方からどうでしょうか？決定してもよろしいでしょうか？

(異議なし)

(風間会長)

はい、それでは意義なしというお声をお聞きしましてありがとうございます。
それでは事務局の方で手続きをよろしくお願い申し上げます。

それから次第の(3)新潟市犯罪のない安心・安全なまちづくり推進協議会の委員の推薦について、
そして(4)新潟市国民保護協議会委員の推薦について、
(5)新潟市防災会議委員の推薦についてとなります。

これらはですね、各種の附属機関の委員の推薦に関係してございますので進行を円滑にするために、
事務局からまとめた説明をお願いしたいと思います。

引き続き、兼島地域課長様より説明をお願いいたします。

(地域課・兼島課長)

はい、では引き続き地域課長である私の方からご説明申し上げます資料3をご覧ください。
新潟市犯罪のない安心・安全なまちづくり推進協議会委員の推薦のお願いです。
詳細については、2枚目の概要をご覧ください。

1つ目目的です。新潟市犯罪のない安心・安全なまちづくり推進協議会は、
安全なまちづくりに関する施策を総合的かつ計画的に推進するため本市が推進計画を策定するにあたり、
必要な事項について調査審議をお願いして市長に建議していただく協議会になります。

2つ目推進計画です。

本市では平成19年4月に新潟市犯罪のない安心・安全なまちづくり条例を施行し、
この条例の中で推進計画を策定することが義務づけられております。
現在のところ計画期間は3年となっております。

平成19年に第1次推進計画が策定され令和4年度から令和8年度までが第6次計画となっております。

3つ目委員についてです。

今回の委員改選に伴う本協議会構成員のうち2号委員にあたる住民の意見を代表するものについて、
西区自治協議会から1名の選出をお願いしたいということです。

委員の任期は令和7年4月1日から令和9年3月31日までとなります。

再任は可能となっております。

4つ目会議の開催です。例年年1回の開催となっておりますが、
令和8年度については2回の会議の開催を予定しておるところです。

次のページにこの新潟市犯罪のない安心・安全なまちづくり推進協議会の自治協議会の委員構成ということで令和3年度以降3年度から4年度の2ヶ年を4区で、令和5年度から6年にはまた別の4区をということで全8区から4区ごとに2年任期のローテーションを行っております。

この度7年度から8年度は西区自治協議会から選出をお願いしたいということで依頼が来ております。続きまして資料4新潟市国民保護協議会委員の推薦についてをご覧ください。

こちらは発出年月日を見ていただくとおわかりになるかと思いますが、昨年度の7月23日に発出された文書となっております。

昨年度、西区自治協議会でもこの推薦依頼を受けまして田中米三委員に就任いただいております。このたびの委員改選により田中米三委員が委員を退任されましたので、この任期のところにあります令和8年8月31日までの残りの任期につき引き続き西区自治協議会から推薦いただきたいというところで依頼が来ております。

こちらの委員の内容についてですが本市では国民保護法の規定により、国民保護のための措置に関し、広く住民の意見を求め、施策を総合的に推進するため、新潟市国民保護協議会を設置しています。

協議会では、市長の諮問に応じて市内に係る国民の保護のための措置に関する重要な事項を審議します。

委員には各自治協議会を初め、国や県などの行政機関や電気、ガス、水道、運輸、通信関係などの公共機関等の代表者に就任していただいております。

この令和6年9月1日現在というところでページを2枚めくっていただくと、令和6年9月1日現在の名簿が掲載されておりますので参考にご覧ください。

続きまして資料5新潟市防災会議委員の推薦についてです。

こちらの会議は災害対策基本法に基づき設置されるもので、本市における大規模災害に対処するため予防対策、応急対策および復旧・復興対策について、行政機関や民間の関係機関などとともに、総合的かつ計画的な防災対策を審議し、推進することを目的としています。

会議の主な役割は、地域防災計画の見直しおよび推進防災に関する重要事項の審議などです。

委員構成については記載の通りになりますが、市民の意見をより反映できるよう、各区自治協議会の委員からも住民代表として委員にご就任いただいております。

任期は2年、次期委員の任期は令和9年3月31日までとなっております。
会議は年1回程度、新潟市本市役所本庁を会場として開催予定ということです。

以上が三つの会議への委員推薦依頼の説明となりますが、
さらにページをおめくりいただいて最後のページ、ページの上部に（参考資料）と
書かれているページをご覧ください。

男女共同参画の推進についてという資料になります。

本市ではこの西区自治協議会もそうですが、
今ほど説明した三つの会議体は女性の登用を進めています。
女性の視点を加えた内容で各種の政策への反映、各種の計画等を整えていきたいというふうに考えてお
りますので、女性の委員を積極的にご推薦いただければと思います。

どうぞよろしく願いいたします。

（風間会長）

はい、ありがとうございます。
今三つにつきまして地域課長さんからお話をいただきました。
皆様の中でぜひ三つの中のこの委員に立候補したいという方がもしいらっしゃいましたら、
挙手をお願いしたいと思います。

ただ一番最後の方で兼島地域課長様より男女共同参画の推進のお話もありました通り、
女性の積極的なご参加をまた併せてお願いしたいということでございます。いかがでしょうか？

（立候補・推薦等なし）

そうですね。今日の今日ではなかなか手を挙げにくいと思います。
この三つともやはり私どもがこれから所属する部会に関係する部会ものでございますので、
そういうことを考えますと第1部会で案を出していただいて、
来週部会で協議をして、そして来月の本会議にて第1部会から推薦という形をとり、
皆様にお諮りしたいと思います。よろしいでしょうか？

（異議なし）

はい、ありがとうございます。
それではそのように決定したいと思いますので次回の第1部会までの間に
もし立候補をしたい方がいらっしゃいましたら、

事務局の方へ直接ご連絡いただければと思います。

【各所管課からの報告】

(風間会長)

それでは次に議事4の所管課からの御報告に入らせていただきます。
令和6年度能登半島地震街区単位の液状化対策の実施に向けてということですが、
こちらは都市計画課の佐藤課長様にご説明をお願いいたします。

(都市計画課・佐藤課長)

はい皆さんお疲れ様でございます。
後ろの方からのご説明大変失礼いたします。

都市計画課の方では昨年度、能登半島地震の対応といたしまして、
今後の液状化対策の防止事業を行っております。
つきまして、皆様にご説明するためのリーフレットを作成し、
ご報告したいということで若干お時間いただきたいと思っております。よろしくをお願いいたします。

お配りしたリーフレットなんですけども、
能登半島地震クラスの揺れが今後再び発生した際にまた液状化現象の発生によって
被害が最小限に抑えられるようにこの検討をしているところでございまして、
このリーフレットにある外部対応の液状化対策というものを
今現在も検討を進めているところでございます。

この検討には非常に長い時間を要することから被害に遭われた市民の方々につきましては、
進捗が見にくい状況ということを認識しておりますので、これまでの取り組みですとか、
この流れにつきまして皆様のお手元に残る形で情報発信することを目的に
このリーフレットを作らせていただきました。

そのような目的から被災の大きかった地域につきましては、
このリーフレットを個別に自治会回覧等によって配布をさせていただいている他、
区役所窓口それからホームページを通して入手することができるようになっております。

また表紙にVol.1とございますけども節目節目におきまして
継続的に情報発信をお届けしたいというふうに思ってる次第でございます。
それではリーフレットの内容についてご説明させていただきます。

資料を開いていただきまして左上、街区単位の液状化対策ってなにというところです。

公道、いわゆる新潟市が管理している道路で囲まれましたいくつかの宅地で形成された街区、そのイメージ図に書いてあるようなものでございますけれども、そこにおいて対策を講じるものになっておりまして道路と皆様の宅地を同時に対策をするところを一体として対策をするということが特徴となっております。

イメージ図にあります通り今現在家が建っていたりビルが建っていたり、アパートが建っていたり、建築物があっても施工対策を講じることができる方法ということになっておりまして、その右、主な対策工法について、地下水位低下工法、それから格子状地中壁工法について現在検討を行っているところでございます。

この二つの方法につきましては効果がある、ないというところがその場所の地盤状況により異なります。

またデメリットとしまして地盤沈下がさらに起こったりというようなこともございますので、そういったところもあわせて検討を行っているところでございます。

液状化の対策としましては、この二つの工法以外にも個人でできる対策も様々ございますけれども、この街区単位の液状化対策につきましては、構造等を中心とした実施主体対策となるため宅地の所有者の方々の理解等を得ながら、市役所が主体的になって検討を進めているところです。

続きまして下段のこれまでの取り組みについてご覧ください。

現地調査についてです。道路や家屋の被害状況の把握、

それから昔の航空写真など土地の地歴というものを調査することによりまして、

どのようなところで能登半島地震において、液状化が発生したのかというものを調べてまいりました。

このリーフレットの赤いところで液状化が発生しておりまして、

西区の青山から大野までは砂丘後背湿地と言われる部分であります。

またときめきなどでは昔の河川を埋め立てられた場所というところで、

旧河道等で多く発生してきたところでございます。

続きましてボーリング調査についてです。

今地図に赤い丸で示されています 27 ヶ所のボーリング調査は全て終わっております。

これに基づきまして、次の地盤の検証作業を行っているところです。

ここにつきましてはより専門的な作業になりまして地質学的に先ほど御説明しました

二つの工法で液状化の抑制効果が得られるのか適用性を検証しているところでございます。

この検証結果につきましては今年の夏ごろに皆さんに

報告させていただきたいというふうに思っております。

この検証につきましては、まだ全体工事着手に至るまでの途中報告ということになりまして、

この夏頃の説明会の後のスケジュールにつきましては、まだ大雑把ではございますが、リーフレットを閉じてもらって一番最後に記載させていただいております。

このように検討の進捗に応じて、その時々にもまた詳細をご説明していきたいというふうに思っております。

よろしくお願いたします。

(風間会長)

ありがとうございます。

都市計画課佐藤課長様よりご説明をいただきました。

皆様の中でぜひこの機会に聞いておきたいというようなことがございましたら、挙手をお願いいたします。

(長澤委員)

はい。

(風間会長)

どうぞ長澤委員。

(長澤委員)

実施に向けてこういうリーフレットにあるような段階通りに進んでいかないと思うんですけども、その過程で例えばここに上がってる対策工法ということで二つ例が挙がってますけども、果たして有効な対策工法ができるのか。また地元の合意が得られるのかどうか、

またちょっと地下水位を下げるといってお話がありましたけどデメリットとして地盤沈下が新たに発生する可能性があるといろいろな問題がある中、結局液状化対策をとらないという選択肢はあるんでしょうか。

あくまで対策として実施をするという前提でやってらっしゃると思うのでその辺を伺いたいと思います。

(都市計画課・佐藤課長)

説明の中でありましたこの街区単位の液状化対策というものの工法に2種類あるということでしたけれども、この2種類の方法が適用できる場合、できない場合っていうのがございます。

できない場合っていうのはなかなか行政の方で最後まで対策を講じることができません。

その場合は、例えば個々に家屋を建て替えるときに杭をし液状化も意識して施工するとか、そういったことが技術的には必要かなと思っております。

今ある建物を残したまま、そこまでやるというのは非常に技術的にも費用的にもかかるものかと思えますけども、建て替えの際にはそういった技術がもうハウスメーカーさん多く持っておりますので、そういったところで皆さん対策ができる方があってやっていただければというふうに思っております。

(長澤委員)

今の説明もそうですね、地盤の調査が一番大事だというお話だと思うんですね。よくわかるんですけども何か申し訳ないですけど期待だけ持たせて、結果どうなんでしょうかね。市民が期待するような区民が期待するような結果になるんでしょうかね。その辺もちょっと詰められた方がいいのかなという感じがします。はい、ありがとうございます。

(風間委員)

他にどうでしょうか。今のリーフレットの説明の中での質問がありましたら、挙手をお願いしたいと思いますがいかがでしょう。

(古俣(和)委員)

はい。

(風間委員)

はいどうぞ、古俣委員

(古俣(和)委員)

はい座らせて質問させていただきます。いろいろな液状化対策がなされてるんですけど、成功例もあれば失敗もあると思います。

そもそもの対策方法っていうのはですね、災害対策基本法の中にもうたわれてる。皆さん災害対策基本法はお読みにならないと思うんですけど、液状化って起こる前提でもって災害対策基本法ができています。これ今更始まったことじゃなくてやればちゃんとうまくいきます。ただ費用がかかる。下手するとずっと未来永劫水を汲み出し続けなければならず、それにかかる費用があります。

それから個人の土地に対してお金をかけるというね。その費用の負担はでてきますのでその辺のところをしっかりと詰めていかないとうまくいかないかなと思います。

昔からここは15mの落差の低地の方に水が噴き出していると、今でも水が噴き出してるわけです。天文学と同じで水文学があって、水文学に基づいて検討されてると思いますし実施すればうまく応えることができるのかなと。

しかしそれを維持していくためにお金がかかるというところでその辺の部分を詰めてしっかりしないとうまくいかない。1人でも反対したら駄目なんだよ。

その辺を慎重に、ちょっと時間をかけてでもいいから街区ごとの対策をした方がいいと思います。個人ではなかなか難しいと思いますね。

地盤に関してもかなり時間がかかりますし、一軒の家ために相当なお金をかけて基礎工事をしなければいけないというようなことがありますので、その辺のところは慎重に住民の意見を聞いてやっていただければと思います。

(風間会長)

はい大変ありがとうございます。それではまた他の皆様で意見がはございますか。

(荻野委員)

はい。

(風間会長)

荻野委員どうぞ。

(荻野委員)

対策というのは時間がかかるものだと思うんですけども、いつ地震が起こるかもわからない中で今後の計画についてどのくらいの規模感でいつまでにどのぐらいっていうところに関しましてお聞きできればと思います。

(都市計画課・佐藤課長)

はいご質問ありがとうございます。

リーフレット裏の方に今年度分、来年度以降ということで書かしていただいております。

今後対策ができる範囲がどれぐらいの大きさなのかですとか、実証実験がスムーズにいくのかということによりましてかなりスケジュールっていうのは変わってくるかなというふうに思っております。

少なくともこの詳細設計ですとか実証実験につきましては、それぞれ1年近く時間がかかるかなというふうに思います。

具体的とありましたがなるべく期間短縮できるような工夫をしながら、進めてはいきたいと思っておりますけれどもそれぐらいの時間をかけていく検討または事業というふうになっております。

(荻野委員)

ありがとうございました。

(風間会長)

荻野委員ありがとうございました。はいでは他にいかがでしょうか？

(質問者なし)

(風間会長)

都市計画課の佐藤課長、ありがとうございました。

それでは続いて委員の皆様から何かお知らせをしたいとかいったものがございましたら、ぜひ挙手をお願いしたいんですがいかがでしょう。

(報告なし)

特にないようでございますので、最後に事務局から連絡をお願いいたします。

【事務局からの連絡】

(地域課・吉岡補佐)

・次回開催案内

「令和7年5月30日（金）午後3時～ 西区役所健康センター棟1階大会議室にて」

・その他配布資料の説明

(風間会長)

閉会宣言〔会議終了〕